

高杉保代さん『新婚旅行』（4月3日配信）

新婚旅行でアメリカに行った時のことをお話します。

アメリカの航空会社に搭乗し手話で旦那とおしゃべりをしていました。CAさんが女性ではなく珍しく男性でした。飲み物を出してくれる際に我々を見て、ろう者、アメリカ手話でデフとこのように表しました。うまく通じるか不安でした。身振りや簡単な手話を交えてコミュニケーションを図り、私は紅茶を頼むためTEAと指文字で表すとしっかり紅茶が出てきました。

アメリカに着き観光のためのガイドさんがいるのですが、外国の方ですが日本語が話せました。私たちを見て、ろう者と理解しすぐにアメリカ手話でしたが自己紹介してくれました。手話での自己紹介に驚きました。簡単な会話を交わし、また翌日の観光にもガイドがついていました。その外国人の方も私たちを見るとすぐに手アメリカ手話で自己紹介をしてくれ、驚きました。聴者なのにみなさん手話で自己紹介が出来るのです。不思議に思い日本人のガイドに聞いてみると、アメリカでは小学校で手話やろう者について学ぶ教育があるそうです。アメリカは進んでるなと思いました。帰国した当時の日本はまだまだでした。今、小学校の総合学習で手話を学ぶ時間があります。簡単な手話や自己紹介だけでも覚えて使う機会があると良いなと思いました。